

男子バレー部の会場は、今年度開校した多度学園。ピカピカの体育館。小中一貫義務教育学校なので、いなべ市のとっている小中一貫教育の形態とはシステムが異なる▼クイックトスにアタックというのは、理にかなっていると思うが、頭上にトスを上げて、落ちてくるボールをさらに上から叩きつけて、地面に落とすというのは、離れ業だとは思えない▼そのアタックをレシーブして、またセッターに返すというのだから、なんということだ！というのがわたしのバレーボールのイメージ。とにかくやることなすことすごい！としか言いようがない。わたしの言語能力ではそのすごさを表現できない▼参観した場所がよかった。ちょうどネットの延長上斜め上からコート全体が見渡せるような場所。テレビではリプレイでしか見られないアングル。これが、とてもよかった。迫力満点。ネットを真ん中にした攻防に痺れた。サーブ、レシーブ、トス、アタック（ブロック）、レシーブ・・・一つ一つの目的がはっきりしていて、それが決まり相手を崩す。崩されなければ、次は攻守が替わる。守りから攻めへというリズムがとても分かりやすい▼1つのボールに全員が集中すること、仲間のために、動くこと。団体（ペア）球技は、ボールに触れているものだけが動いているだけではない。相手と駆け引きをしながら、仲間を最大限に生かす。ナイスゲームだった。